

# 市議会が「高田のまちづくり」で意見交換会開催

上越市議会は昨年からは各層との意見交換会を連続的に開催しています。1月26日には高田小町において、「高田のまちづくりについて」をテーマに開催しました。

今回は、本町まちづくり(株)など各種団体や地域で起業して注目されている人など11人から参加してもらい、現状や課題、未来像などについて語っていただきました。議会側は総務常任委員会のメンバーなど13人が参加しました。

注目したことのひとつは若い人たちの発言です。「雁木を検索しても雁木通りプラザ以外あまりでてこない」「高田には400年の歴史がある」「移住のハードルをもっと下げられないか」「世界館のまわりにカフェができて、ミンパク

ができていたりいいカタチになってきているが、このエリアの活性化だけでなく、まち全体を何とかしないと…」などの発言が相次ぎました。若い人たちの豊かな感性、企画力を感じました。

このほかの人たちからも、重要な指摘や提言などが出されました。「渋川から糸魚川までサイクリングコースがあり、この上越市はサイクリング天国だ。朝市も目玉商品にした方がいい」「本町街は小さい子どもさんたちが行き交うことが少ない。もう少し視点を子どもたちに向けてほしい」「街中で日常生活に必要なものの買い物が間に合わなくなってきた」「まちと周辺部地域をつなぐことが必要だ。市民農園はやった方がいい」

…こういった発言は、今後のまちづくりを進めていくうえでヒントになります。

この日は、2時間半くらいの意見交換会で、テーマを絞って意見を交換する展開にはなりませんでしたが、今後のまちづくりについて議会が関心を深め、実のある議論をしていくスタート地点に立つことができましたと思いました。会では

## ひららぎ哲也の活動コーナー 市民野党共闘で県議選勝利へ

1月23日、「バランスのとれた県議会を実現する県民の会」(佐々木寛代表)が県議選の第一次推薦候補、新人9人、現職4人を発表しました。

私も政策協定書にサインして、みなさんと一緒に会見に参加しました。

県議会で市民と野党の共闘をすすめる、原発に依存しない社会の実現をめざす、アベ改憲に反対するなど、県政でも本気の共闘で政治を変える大きな一歩です。



### 市民のみなさんの暮らし応援でがんばっています

写真でふりかえる2018年

2018年も選挙の年でした。大競選は、大敗しました。日本共産党市議員団は選挙区や教員へのアンケート調査など、選挙対策のために頑張りました。

「赤い花畑」の撮影と議会内外で撮影。写真は「なくそ子孫あつめ大会」

三和区宮崎新田の産直は全産直会

坂倉区立立の親家、右下は三和区弘河の水害

大震で倒壊した道江津駅

千ばつが市議会に参入

「選挙区に合わせた」が上野市議員団の強み。写真も選挙区で撮影した。写真も選挙区で撮影した。写真も選挙区で撮影した。

日本共産党上越市議員団

2019年2月

市議会報告

橋爪 法一 (吉川区代石) 090-5392-1961

上野 公悦 (頸城区中柳町) 090-7260-9407

橋本 正幸 (三和区鴨井) 090-1980-9855

●発行: 日本共産党上越市議員団 ●連絡先: 日本共産党上越市議員団 ●Tel: 025-543-1890 ●Fax: 025-543-1875 ●ホームページURL: <http://jcp.orstugindan.webnode.jp/>

橋爪 (うばい)

いた発言を整理したうえで、議会で大いに議論し、行政に提言していきたいと思えます。(橋爪記)



### 日本共産党上越市議員団ニュース

No.620 2019年2月3日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)

絡 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)

先 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)

2月8日の上越タイムスに日本共産党市議員団の活動報告が掲載される予定です。カラーでご覧いただけます。